

AUDIX®

DP7 取扱説明書

この度は Audix DP7 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みください。また、本機の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、「取扱説明書」をよくお読みください。「安全上のご注意」、「使用上のご注意」、「取扱説明書」は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

はじめに

DP7 は、5 ピースドラムセットに最適なマイクセットです。

Audix VLM テクノロジーを採用したダイナミックマイクは、近接マイキングで過渡応答を適切に管理、コンデンサーマイクはシンバル録音とドラムオーバーヘッドのステレオ録音を可能にします。

DP7 は、マイク以外にもマイククリップ、クランプなどの取付用アクセサリー、頑丈なアルミ製キャリングケースを付属しています。

キックドラムに D6、スネアに i5、これらのマイクは全てのドラマーの必須アイテムです。キックとスネアはドラムキットの中核であり、全てのグループの基本です。

D6、i5 どちらも高い音圧レベル処理が可能なので近接マイキングに適しており、キック、スネアのミックス録音が可能、近接マイキングにより的確にグループ感を表現することができます。

D2、D4 はタムおよびフロアタムの録音に適しています。D2、D4 も高い音圧レベル処理が可能なので近接マイキングに適しており、アタックとパーカッション録音が可能。

これらの 4 種類のマイクは、近接マイキングにより各ドラムサウンドを的確に分離、それぞれのマイクがそれぞれのドラムのサウンドを適切に録音することができます。

また、多くのエンジニアは 2 つのオーバーヘッドマイクを用いて、ドラムセットの自然なサウンドを録音しています。2 つのオーバーヘッドマイクを正しく設置することで、ドラムセットの過渡応答、音調、バランスを完全な位相コヒーレントで録音可能です。

ADX51 は、オーバーヘッド録音を意図して設計された 14mm 金蒸着ダイヤフラムを採用したコンデンサーマイクです。カーディオイド極性パターン、高感度、スリムなベンシルタイプの ADX51 をオーバーヘッド録音用に 2 本立てることで、ドラムセット全体のステレオイメージを的確に録音することができます。

最新世代の音楽においてステージでのドラムセット録音では、オーバーヘッド録音と近接マイキングに組合せよるドラムセット全体のステレオイメージでの録音がベストな選択肢です。

D6 はパンチのある低音とキックのアタック、i5 はスネアのクラックと深度、D2 と D4 はタムのアタックと倍音、ADX51 はハイハット、シンバル、オーバーヘッドをそれぞれ録音できます。

DP7 を用いることで、部屋や PA システムの規模に関係なく、存在感のあるドラムサウンドを録音することができます。

主な仕様

型名	DP7				
付属マイク	i5	D2	D4	D6	ADX51
形式	ダイナミックマイクロフォン				コンデンサーマイクロフォン
指向性	単一指向性	超単一指向性			単一指向性
マイクカプセル	VLM TypeB		VLM TypeD	VLM TypeE	14mm 金蒸着ダイヤフラム
周波数特性	50Hz ~ 16kHz	68Hz ~ 18kHz	40Hz ~ 18kHz	30Hz ~ 15kHz	40Hz ~ 18kHz
出力インピーダンス	150 Ω	280 Ω			100 Ω
感度	1.5mV/Pa (1kHz)	1.2mV/Pa (1kHz)	1.4mV/Pa (1kHz)	0.8mV/Pa (1kHz)	17mV/Pa (1kHz)
最大入力音圧 SPL	≥ 140dB	≥ 144dB			≥ 132dB
Off-Axis Rejection	≥ 23dB	≥ 30dB	> 20dB		>15dB
接続端子	XLR コネクタ				
電源	-				ファンタム電源 (9 ~ 52V)
外観材質	亜鉛合金黒色仕上げ	アルミ筐体黒色ハードコート (アルマイト処理) 仕上げ			機械加工真鍮黒色仕上げ
質量	250g		128g	254g	184g
付属品	i5 本体、D2 本体× 2 台、D4 本体、D6 本体、ADX51 本体× 2 台、マイククリップ MC1 (3/8-5/8 変換ネジ付属)、マイククランプ DVICE (マイククリップ DCLIP、3/8-5/8 変換ネジ付属) × 4 台、マイククリップ DCLIP (3/8-5/8 変換ネジ付属) × 3 台、MC1 取扱説明書、DCLIP 取扱説明書、アルミ製キャリングケース、保証書、QR コードカード				
品番	DP7				

※本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

主な特長

- ・ステージ、スタジオ向けドラム録音用プロフェッショナルマイクロフォンセット
- ・ADX51 コンデンサーマイクによりドラムオーバーヘッドの空間録音が可能
- ・一貫性かつ優れた録音性能を提供

付属品

- ・ i5 本体
- ・ D2 本体× 2 台
- ・ D4 本体
- ・ D6 本体
- ・ ADX51 本体× 2 台
- ・ マイククリップ MC1 (3/8-5/8 変換ネジ付属)
- ・ マイククランプ DVICE (マイククリップ DCLIP、3/8-5/8 変換ネジ付属) × 4 台
- ・ マイククリップ DCLIP (3/8-5/8 変換ネジ付属) × 3 台
- ・ ウィンドスクリーン WS81C × 2 台
- ・ アルミ製キャリングケース

使いかたのヒント

DP7 は、DP5A マイクセットに ADX51 コンデンサーマイクが追加されたセットです。オーバーヘッドマイクを追加することでドラムサウンドの深度を高めミックスにおけるドラムの存在感を増すことができます。2 本の ADX51 をオーバーヘッドに使用するか、1 本をハイハット録音として 1 本をオーバーヘッド録音に使用するか選択できます。

ADX51 のオーバーヘッド録音について：

設置の際には、スネアから等距離で左右様々な位置で調整してください。スネアからの 1.2m 離れた位置から調整を始めるのが最適です。マイクをスネアから垂直の向きに保ち、シンバルだけでなくマイクセット全体をマイキングすることを意識して設置しましょう。キック、スネア、オーバーヘッドのサウンドがクリアーに、タムのサウンドが少し弱くなるのが分かります。

ADX51 のオーバーヘッドとシンバル録音について：

ハイハット録音用の ADX51 は、トップシンバルの 5 ~ 8cm、シンバルの縁に向かって設置してください。オーバーヘッド録音用の ADX51 は、シンバルの上、一般的にはラックタムの上に設置してください。ドラムセットの片側にシンバルが多く設置されている場合は、シンバルが多い側に設置してください。

D6 のキックドラムの録音について：

D6 をフロントヘッドの内側数 cm に、ピーター直接でなくマイクを中心から外して設置します。アタック音を強調したい場合は、マイクをピーターに近づけましょう。低音域を強調したい場合は、マイクをピーターから離して設置してください。

i5 のスネアの録音について：

i5 のグリル部分の先端を、ドラムの中央部分に向けてドラムから 5cm 程度離して設置しましょう。リムのエフェクトを録音したい場合は、ドラムの中心部分からリム側に向きを変えてください。レゾナンスと深度をより高めるには、ドラムヘッドからマイクを離してください。隣接ドラムからの音漏れに注意しつつ、レゾナンスとアタックの適切なバランスを見つけてください。

D2、D4 のフロアタムの録音について：

マイクの先端を、ドラムの中央部分に向けてドラムから 5cm 程度離して設置しましょう。これは、レゾナンスとディケイを録音するのに最適な位置です。

付属の DCLAMP および DFLEX を用いることでマイクをパーカッション録音やリムに取り付けることができます。

外形寸法・ポーラーパターン

付属マイクの外形寸法およびポーラーパターンは以下のリンクより各マイクの仕様を確認してください。

[Audix i5](#)

[Audix D2](#)

[Audix D4](#)

[Audix D6](#)

[Audix ADX51](#)

付属品封入イメージ



※本紙に記載されている社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
© 2022 ローランド株式会社